

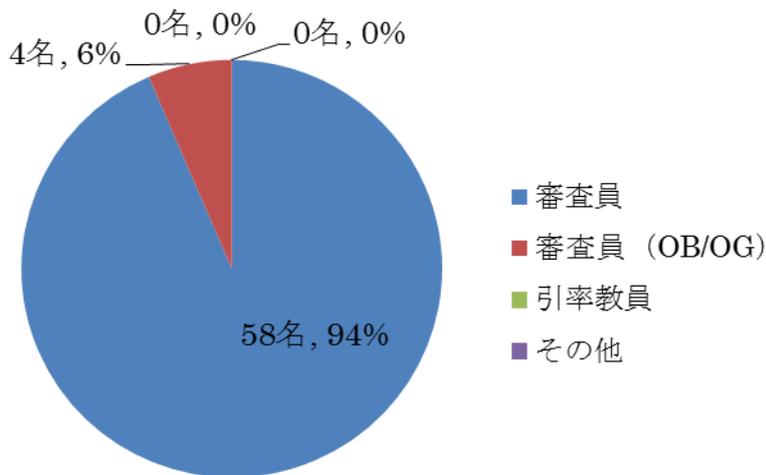


# 第13回大学対抗交渉コンペティション審査員アンケート集計結果

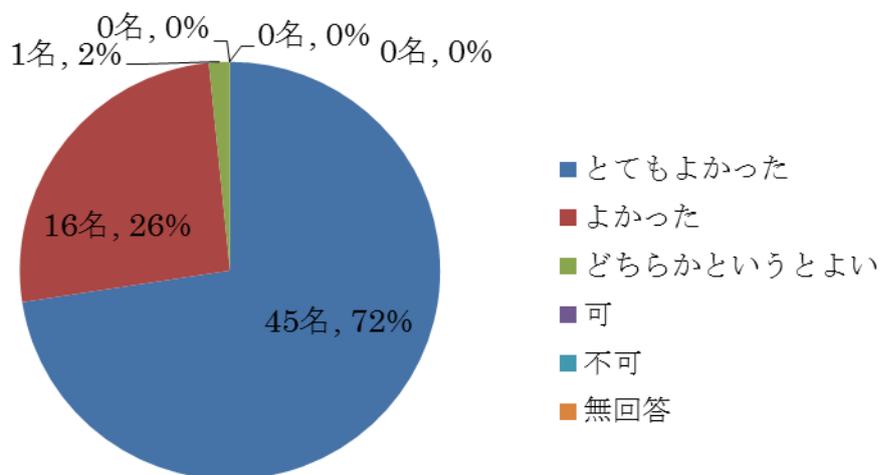
※アンケート実施年月日／平成26年11月30日(日)

※有効回答人数／62名

## Q1. 大会での役割



## Q2. 本コンペティションの評価はいかがですか



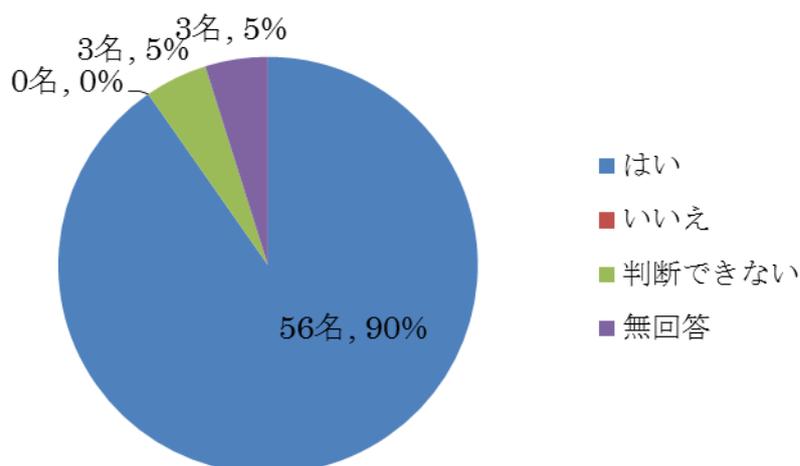
## Q3. 課題問題についてご意見があればお聞かせください

- 論点が多くてももう少し仲裁の場で聞きたいことがひろえきれなかった。
- 分量・難易度とも適切だったと思います。
- 争点、論点についての出題者の意図が明確に表れていたと思う。準備書面での双方の食い違いが少なかったのは、問題設定が適切であったからだと思う。
- 実務（国際法務）に良くある case であるが、ひねりも効いていて素晴らしいです。
- 双方の主張すべき事情がバランスよく配分されている良い問題だと思いました。
- 考えさせられる良問でした。
- If was very complex but the students managed great well.
- 現実的にありそうな M&A 案件の設定であり、良問だったと思います。
- 1230～1250/1250～1310 の報告については自己評価という形式よりも、過去にあったような社長への報告にすべきと考えます。というのも、実社会でも、交渉前に方針を説明しながらいざ交渉してみると方針通りにいかないこともあり、その際、いかに上司に交渉結果を説明するかは一つのノウハウとなるためです。自己評価という形式をとった場合、審査員の前で自チームに不利なことを言う学生は少なく、この観点でも今日のよかったこと/悪かったこと、次回どう交渉するかの説明よりも当初方針に対してどう交渉したか、できなかったとしてもなぜ問題はないかを説明する機会を設けるべきと考えます。
- 今回は M&A の表面保証が主たる問題で非常に良かった。交渉の題材として最適だと思う。一方で実務上の慣習が必要になる為、問題も多い分野だと思った。
- The problem had some challenging sections this year which required external research. I think this makes for an interesting competition for competitors.
- 学生がビジネスの基本スタンス、前提を理解していないために議論が紛争している場面もあり、問題作成も難しいなと感じました。

#### Q4. 審査票・基準および配点について改善点があればお聞かせください

- 採点は非常に難しいですが、現状がベストと思うしかないですね。
- 現状が良いと思います。（なかなか差をつけるのも難しいですがやむを得ないと思います。）
- 0.25 点の余地が欲しい。
- 議論がかみあわないのは、学生さんに対応がないからですが、当日のパフォーマンスの評価を重視すればよいと思います。
- 合意メモの作成点がある為に、学生が議論を急ぎ過ぎている面があると感じました。
- 点が細かく刻み過ぎている
- 4点を付けるのが実際どのような場合であるのか少し悩んだ。

#### Q5. 本コンペティションが学生の交渉・仲裁教育に対するインセンティブを高めるのに役立っているとお考えですか



#### Q6. その他、感じたこと・来年以降に向けて改善してほしい点など、ご自由にお書きください

- 法学部学生にとり、法律論（理論）の学習から初めて、事実（臨床）に接する機会であるこのコンペの意義を再認識し、その点を再強調する指導を考えて欲しいと思う。（与えられた沢山の事実を如何に上手に用いて主張を構成し理由づけていくかをあらかじめ指導した上で臨まれるよう学生を指導して下さい。）
- Great day. Excellent app
- 年々学生さんの質が向上しているように感じます。審査員としてやりがいのある充実した内容でした。本当にありがとうございました。
- 去年に比べて、今年のラウンドBはリーガルと数字の要素からなっており、その意味でより実践的なラウンドBだったと感じています。
- これからのランチでFBできると思いますが、伝えたいことがいっぱいありますね。素晴らしい機会だと思います。そして、学生のみなさん優秀です。日本も大丈夫ですね！！
- 学生がかなり時間をかけて準備していることを感じた。
- 学生達だけでなく、新入の社会人にもやっていただきたいです！
- 学生のレベルが確実に上がっていると思います。今年も楽しませていただきました。
- 仲裁の進め方を事前に決めて、各審査員間で差異がないようできないか。
- 交渉の時間を伸ばし、途中で追加情報を与えるというやり方を採用してはいかがでしょうか？